

☆ギャンブル依存症対策について

- ・ 依存症対策センターをカジノ開業前に設置する。
- ・ カジノにはマイナンバーカードによる入場規制を行う。
(1週間で3日まで、4週間(28日間)で10日まで)
- ・ カジノは入場料が1回6,000円必要。
- ・ 家族等の反対があれば入場が禁止となる。

現在の日本ではカジノがないにも関わらず、ギャンブル依存症の人数は世界に比較しても一番多いと言われています。

☆夢洲の土地造成について

- ・ これまで活用計画がなく空地のまま放置されていた。
- ・ 残土処理場として活用は令和8年での計画だった。
- ・ 残土の受け入れを続けても収入は4億87百万の予定。
- ・ 土地を貸すためには土壌改良が必要なため市が負担する。

大阪の咲洲・舞洲・夢洲の埋め立て地は、新都心の開発として1988年に「テクノポート大阪」計画の一部とされていたが、バブル崩壊により頓挫し、その後、オリンピックの招致を目指したが失敗に終わり、負の遺産といわれていた。

☆統合型リゾート(IR)の誘致について

- ・ カジノを含む、国際会議場やショッピング・レジャーの宿泊施設。
- ・ 納付金と入場料収入として、府市に年1,060億円支払われる。
- ・ 万博を一過性に終わらせることなく次の成長につなげる計画。
- ・ シンガポールやドバイも産業が枯渇し観光(IR)に特化し成長した。

国際会議(MICE)会場は、世界的な見本市などが開催され、ビジネス渡航による経済効果が大きいとされている。MICE参加者のための、ナイトカルチャーが求められており、世界で130ヶ国が取り入れているカジノを日本にも設置することになったが、世界最高水準のカジノ規制を法案化し安全は保障されている。